平成 28 年 6 月 1 日発行 (毎月 1 回) Vol.28 No.3

誠美だより

6
2016/JUN
誠美保育園

回って回って回って上る

梅雨入りの発表はあれど、夏の日差しと暑さが続き、野菜畑の水遣り、園庭の芝刈りも忙しくなってきました。

ますます緑濃くなるこの南大沢、駅前の首都大キャンパスで、先日全国の保育者が集う「保育研究大会」なるものが開催されました。様々なテーマ毎にグループ（分科会）に分かれ、それぞれの保育内容を報告し合い、議論したり語り合ったり…こうした大会は主催者は違えど、年間を通じてかなりの数が全国各地で開催されています。参加者千人を超えるそうした大会の一つが、この南大沢で開催されるというのは本当に珍しいことで、この機会を逃すまいと、私たちも参加をしてきました。

大会最終日の日曜日の朝、保育園に車を駐め、会場を目指し裏門から遊歩道へ抜けると、園舎裏の斜面に掛かる一枚のブルーシートを発見！風で飛んで落ちたのかと近づいてみると、四方がロープで張られているように見えます。この力ない張り具合と周囲の板材の散らかりようから、さては学童たちが忍び込み…そんな思いが一瞬頭をよぎったものの、使い古した葦簀やロープなど、これだけの材料を集められるのは内部の人間…在園児の遊びの痕跡と判断、先を急ぐことにしました。（この「秘密基地作り」の活動はいまなお継続中。）

さて、私の参加した分科会で、「傍らの体験」という面白い表現を耳にしました。

私が園内で大工仕事などの作業を始めると、子どもたちは興味深げに集まってきます。元来やりたがりの子どもたちは、少しでもそれを「体験」したくてうずうずしています。「自分には難しいのかな」なんて思いながら手を出すのぐっと我慢しているうちに、飽きて別の遊び駆け出していきます。かと思うと、また舞い戻ってはあれこれと声を掛けてくる…そんなようすに根負けして少しやらせてあげると、満足したのか、またどこかへ駆け出していく…誰かが少し難しそうな何かやっている側を、行きつ戻りつしながら関わっていく…例えばこんなようすが「傍らの体験」なのかなと思います。

今園内では3～5歳児を中心に「お神輿作り」が始まっています。構想から製作そして担ぎ出しまでの長期に渡る活動の中

で、年齢や個々の発達に応じて関わる部分が異なってきます。しかし、自分がまだできない部分であっても、役割の違う部分であっても、傍らでそのようすを見て・聞いて・感じていることも大切な「体験」なのだと思います。きっとこれを「伝承」と言うのかもしれませんね。

これはちょうど螺旋（らせん）階段を上るのと似ています。同じ活動でも、一周した翌年は元の場所に戻るのではなく、知らぬ間にその少し上に立っている感じです。それは「傍らの体験」から繋がる階段を上ってきたから辿り着いた場所です。

そういった連なりもなく、ある日突然これをやろう、と投げ掛けても子どもたちは、なにがしかの形にはするのかもしれません。しかしそこには「思考」の育ちは少ないように感じます。目に見えにくいのが「考える力」です。なので、結果や成果物ではなく、その経過（プロセス）を見つめる必要があると思うのです。

0～2歳児が過ごす2階テラスのプランターでも野菜を育てています。この年齢では「直接的に体験」できる部分はずっと限られてきますが、保育者の傍らで見聞きする体験が「思考力」を育てています。

力強く螺旋を描いて、上へ上へとツルを伸ばしている園内の野菜たち。ヒトよりひと足もふた足も早く、収穫期を迎えようとしています。

園長　折井誠司

安全教室・防災訓練の紹介

3～5歳児を対象に、事故防止や安全に関する指導を行っています。

職員による寸劇なども取り入れ、よりわかりやすく、印象に残るような工夫をしています。ご家庭でも、お子さんと話をしてみてください。

4月　園庭固定遊具の遊び方と約束
5月　鉄棒の一人での練習危ないよ
6月　傘は両手でしっかりと
7月　プールでふざけると、危ないよ
8月　知らない人に、ついて行かない
9月　はさみは上手に使って遊ぼうね
10月　色々あるね、道路の標識
11月　公園での過ごし方
12月　室内と室外の過ごし方の違い
1月　凍った道は危ないよ
2月　靴はきちんと履きましょう
3月　助けを求めよう

また、本年度も毎月、災害の種類、場所、時間を変えながら、消火と避難訓練を行っています。出火場所に応じて、各クラスの避難経路が設定され、園庭の滑り台前に全園児が集合します。

2次避難場所（内裏谷戸公園）への避難、保護者の方へお引き渡し、消防署員の立会い、消防車見学なども予定しています。

カレンダー

6月	7（火）	発育測定 (012)
	8（水）	発育測定 (K)
	9（木）	乳児健診
	14（火）	防災訓練
	16（木）	誕生会

●編　集　誠美保育園
●編集人　折井 誠司
●発行人　折井 誠司
●印刷所　誠美保育園
●発行所　社会福祉法人 誠美福祉会
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-12
電話 042-675-1551
ファックス 042-677-5643
E-mail seibi@hoikuen.jp
http://hoikuen.jp/